

インコの環境エンリッチメントに基づいた手帳型飼育ブックの制作

札幌市立大学デザイン学部 人間空間デザインコース

1811028 佐竹穂乃佳

指導教員 須之内元洋

2021年1月17日提出

要旨

飼育されているセキセイインコの幸せとは何だろうか。セキセイインコは、人間と同じように言葉を交わすことで互いの意思を伝えることは困難である。しかし、そんな中でもセキセイインコは鳴き声や行動を通して、私達人間に対して様々な感情を表現するのだ。

そこで、本研究ではセキセイインコの飼い主が日常的に手を動かしながら、積極的にかつ気軽に自分の飼育しているセキセイインコについて理解を深められることを目的とした手帳型飼育ブックの制作を行うことにした。

平安時代、貴族が小鳥を飼育するようになったことが日本におけるセキセイインコの飼育文化の起源だが、当初は観賞用として飼育されていた。しかし、現在は飼い主である人間と互いにコミュニケーションをとることで、異種の動物間でありながら家族同然の深い関係性を築いている印象を私は受けている。

一方、現代の飼育には、恵まれた環境から生まれるセキセイインコの退屈といった課題がある。野生下のセキセイインコの場合、1日の大半を外敵に対する警戒と餌を探すことに費やしている。しかし、飼育下では、餌箱へ移動するだけで食料が得られる上、食べやすいように加工された市販の餌が与えられる。つまり、野生下では1日の大半を費やしていた食事の時間が、飼育下では大幅に減少することで、セキセイインコに退屈な時間が生まれてしまう。飼育下のセキセイインコで、噛み付きや毛引きなどの問題行動が目立つ場合があるが、これらは退屈やそこから生まれる欲求を解消するための行動だと考えられている。

こうした問題行動は、動物園の動物にも見られることがある。動物園では問題行動の改善や予防として、野生下にあつて飼育下にはないものを飼育環境に取り入れる「環境エンリッチメント」と呼ばれる取り組みを行っている。本研究では、円山動物園に取材を行い、高齢モモイロインコへの環境エンリッチメントの実践例調査を行った。取材では環境エンリッチメントの実践例として、飼育スペースで栽培する植物の工夫、他の動物の存在、与える餌の工夫の3点が挙げられた。これらの実践例は、いずれもモモイロインコが高齢であることを理解した上での取り組みだ。つまり、環境エンリッチメントでは、むやみに仕掛けを取り入れるのではなく、その動物にとっての暮らしやすさのために試行錯誤することが大切である。

また、家庭で飼育されるセキセイインコに環境エンリッチメントの要素を取り入れるための、手作りおもちゃが注目されている。本研究では、実際に手作りおもちゃを制作して

いる「ペットショップ小泉」でおもちゃの作り手である小泉さんに取材を行った。

取材の中で印象的だったものとして、はしごのおもちゃがある。このおもちゃは、市販のものと比較して足場の間隔が狭められているため、高齢の場合や運動が得意ではないセキセイインコにも安心して遊ばせることができる。つまり、手作りおもちゃは、飼い主が自分の飼育するセキセイインコの特徴を理解した上で作ることができる唯一のオーダーメイド品である。

以上を踏まえ、「セキセイインコの飼育を行う際に必要とされる基本的な知識の理解」、「飼育しているセキセイインコの個性を深く知る」の2点を軸に、情報ページとワークシートから構成された手帳型飼育ブック「我が家のインコダイアリー」を制作した。情報ページは、Lesson1 から Lesson4 の4つの Lesson に分かれている。それぞれのレッスンでは、文献調査や環境エンリッチメントの取材を通して得られた情報や発見を、セキセイインコの飼育に役立つように工夫して編集し、紹介している。また、カレンダーや塗り絵を要素として盛り込んだワークシートは、使用する飼い主が楽しみながら書き込むことができ、かつ見返しやすいデザインを目指したものである。さらに、飼育ブックの冊子は飼い主が日常的にそばに置いておきたくなるように、A5 サイズの手帳型で制作し、使用状況に応じてワークシートの補充や交換ができることを想定している。

自宅でセキセイインコを飼育されている「ペットショップ小泉」の小泉さんに、完成した手帳型飼育ブックを見ていただいてヒアリングを行った。その結果、以下のような課題点が見えてきた。

- ・持ち運びを重視した冊子サイズによる文字の読みにくさ
- ・体重記録のワークシートの目盛りの大きさ、「体重の計測に適した時間」の説明不足

今後は、これらの課題点の解決と、手帳型飼育ブックの内容のブラッシュアップをはかり、商品化を目指していきたいと考えている。

本研究で制作した「我が家のインコダイアリー」は、飼い主が環境エンリッチメントに関心を持つとともに、自分が飼育しているセキセイインコを深く知ることを目指している。この作品が、セキセイインコとその飼い主の幸せを考えるための第1歩として役に立つことを心から願っている。

目次

第1章	はじめに	06
1-1	研究の背景	
1-2	研究の目的	
1-3	本論文の構成と研究方法	
第2章	飼育環境下におけるセキセイインコ	08
2-1	セキセイインコの飼育の始まり	
2-2	日本に影響を与えた中国の飼鳥文化	
2-3	現代の飼育	
2-4	現代の飼育環境下における課題	
2-5	セキセイインコの退屈を埋める遊び	
2-6	第2章のまとめ	
第3章	環境エンリッチメント	11
3-1	環境エンリッチメントとは	
3-2	札幌市円山動物園の実践例	
3-3	おもちゃによって期待されるエンリッチメント効果と課題	
3-4	手作りおもちゃの制作例とメリット	
3-5	環境エンリッチメントに基づいた飼育ブックの方向性	
第4章	セキセイインコの飼育に関する知識	17
4-1	飼育環境下におけるセキセイインコと人間の関係	
4-2	セキセイインコ健康観察	
4-3	飼い主が心がけること	

第5章 制作物について	20
5-1 制作主旨	
5-2 飼育ブックの概要	
5-3 制作物のヒアリング	
5-4 今後の展望	
第6章 おわりに	30
謝辞	30
参考文献・参考Webサイト一覧	31

第1章 はじめに

1-1 研究の背景

飼育されているセキセイインコの幸せとは何だろうか。私は過去にセキセイインコを飼育していた経験の中でそう思うことが何度もあった。たとえ、言葉を真似る性質を持ったセキセイインコであっても、人間と同じように言葉を交わすことで互いの意思を伝えることは極めて困難である。しかし、そんな中でもセキセイインコ達は様々な鳴き声や行動を通して、私たち人間に対して喜びや悲しみ、怒りといった感情を表現するのだ。

日本では、平安時代の貴族が小鳥の飼育をするようになったことがセキセイインコの飼育文化の起源とされている。当初は、見た目の美しさや鳴き声に魅了された貴族が観賞用として小鳥を飼育するようになった。一方、現代における飼い主は、セキセイインコと互いにコミュニケーションをとりながらペットとして飼育することで、人間と鳥という異種の動物間であっても家族同然のような深い関係性を築いている印象を私は受けている。

しかし、飼い主側の一方的な意思により、セキセイインコに対して無理やり言葉を覚えこませ、執拗なトレーニングを強制したことにより、積極的にコミュニケーションを取っていたつもりがかえってセキセイインコのストレスに繋がってしまう事例も存在している。大切なのは、飼い主がセキセイインコの習性や気持ちを理解した上で、それぞれのセキセイインコの個性に適したコミュニケーションを行えているかということであると私は考えた。

1-2 研究の目的

セキセイインコにも私たち人間と同じように心がある。セキセイインコへの理解を深めた上で正しく接することができれば、次第にセキセイインコも心を開いてくれるはずである。それができてこそ、本当の意味でセキセイインコと人間の豊かな関係作りに繋がるのではないかと私は考えた。

そこで本研究では、セキセイインコを飼っている人が日常的に手を動かしながら、積極的にかつ気軽に自分の飼育しているセキセイインコについて理解を深められることを目的とした飼育ブックの制作を行うことにした。なお、本飼育ブックはペットショップにて、初めてセキセイインコを飼育する人に配布することを想定している。

1-3 本論文の構成と研究方法

第1章では、研究の背景、研究の目的、本論文の構成と研究方法について記述し、本論文の概要や構成について説明をする。

第2章では、セキセイインコの飼育のルーツを辿り、現代の飼育環境との違いを明らかにした上で、現代の飼育における、人間とセキセイインコの関わり方の中で生まれる課題を考察する。また課題解決のキーワードとしてセキセイインコの退屈やセキセイインコの遊びについての重要性を述べる。

第3章では、第2章で考察した課題である「飼育環境が生んだセキセイインコにとっての退屈」を解決するための遊びについて、環境エンリッチメントの観点からその内容を解説する。また、札幌市円山動物園や札幌市内のペットショップでの取材をもとに環境エンリッチメントの実践例の調査を行う。さらに、これらの調査を通して環境エンリッチメントに取り組む上での注意点や、個性に合わせた環境エンリッチメントの必要性を考察し、家庭環境で暮らすセキセイインコに向けた作品制作における焦点について考える。

第4章では、手帳型飼育ブックの制作を行うにあたり改めて文献調査を行い、制作における1つの焦点である「セキセイインコの飼育に関する基本的な知識」を紐解いていく。

第5章では、これまでの文献調査や取材内容を踏まえた制作物として、セキセイインコの飼育ブックの主旨や構成、飼育ブック内のワークシートの仕様について述べる。また、完成した制作物のヒアリング調査を通して、制作物の実用性や今後の発展性についての検討を行う。

第6章では、本研究全体を通してのまとめを記述する。

第2章 飼育環境下におけるセキセイインコ

研究にあたって、はじめにセキセイインコの飼育の歴史を振り返り、現代の飼育の形とそこで生まれる課題を探っていく。

2-1 セキセイインコの飼育の始まり

セキセイインコは、現在もオーストラリアなどを中心に野生環境で生活している姿が見受けられるが、日本ではセキセイインコの多くがペットとして飼育されている。2-1では日本での動物飼育の始まりからセキセイインコに関する飼育の歴史を紐解き、当時の人間とセキセイインコの関係性を考えていく。

ヒトが動物と一緒に暮らしていた形跡が神奈川県の夏島貝塚から発掘された¹⁾。夏島貝塚は、約9500年前の旧石器時代の貝塚であることから、日本における動物飼育の歴史は遥か昔から始まったことがわかる²⁾。ただ、当時はまだ鳥類は飼育されておらず、キツネや柴犬などの犬型の動物を飼育していた。

弥生時代に入り、卵を産む鶏の飼育が始まったことをきっかけに鳥類の飼育が始まった。その後、海外からオウムや孔雀といった珍しい種類の鳥が積極的に輸入されたことで飼育される鳥の種類は大量に増えたと言われている。また、1887年ごろに制作された松森胤保氏による「両羽禽類図譜」には、海外から日本へとズアカサトウチョウやセキセイインコがやってきたことが描かれている。その後、大正時代の終わりの1924年にはセキセイインコなど海外から輸入された鳥の飼育の人氣に火がつき、多くの家庭で飼育されることとなった。翌年1925年には日本国内で巻毛の変異種が誕生し、これが現代のように芸を覚えるセキセイインコの発端となったことが分かっている。

2-2 日本に影響を与えた中国の飼鳥文化

海外の飼鳥文化の中でも中国は日本に大きな影響を与えたと言われている。中国では清の時代から北京にて愛玩動物としての鳥の飼育が盛んになった。清の時代の終わり頃には鳥飼いが空に向かって投げた玉を鳥にキャッチさせた他、錠前開けや旗を咥えさせる芸を鳥に仕込むことで街の人を楽しませたという。一方日本でも、江戸時代や大正時代に、街行く人を楽しませようと鳥に芸を覚えさせようとする鳥飼いが増加したことから日本の飼鳥文化が中国の影響を受けたことがわかる。

ただ、当時の日本では、飼い鳥に魅力を感じなくなった人々が、飼い鳥を外に逃すといった飼育放棄も目立っていた³⁾。これらのことから、昔の鳥の飼育はあくまでも鳥を人間

の娯楽のための道具として認識している印象を私は強く受けた。

2-3 現代の飼育

一方、現代のセキセイインコをはじめとする飼い鳥は「コンパニオンバード」として分類されている。コンパニオンバードとは、別名で「伴侶動物」とも呼ばれ、飼鳥種の中でもインコやオウムのように、人と触れ合うことを好み、懐きやすい性格の個体のことである。前述の通り、飼鳥文化が始まった当初、鳥は見た目の美しさや鳴き声を人が楽しむための道具とされ、いわゆる愛玩動物として扱われていた。しかし、現在の飼い主は、セキセイインコなどのコンパニオンバードをケージから出し手に乗せて触れ合うほか、会話を楽しむことで盛んにコミュニケーションを行うようになった。それはまるで、セキセイインコと人間が家族同然の関係性を築いているかのように思える。

2-4 現代の飼育環境下における課題

ただ現代のセキセイインコの飼育には、人間とセキセイインコの関係性の変化から生じた課題がある。それは、恵まれた環境から生まれるセキセイインコの退屈だ。家庭で飼育されているセキセイインコの中には、飼い主に突然強く噛み付くことやセキセイインコが自ら毛引きをしてしまう問題行動が見られる場合がある。これらの問題行動をするセキセイインコは虐待や飼育放棄をされているのではなく、むしろ大切に飼われていることが多い。ではなぜこれらのセキセイインコは問題行動を引き起こすのだろうか。

野生環境で暮らしているセキセイインコなどの鳥は1日分の食料や水を確保するために自ら長距離の移動を強いられる。また、その間も常に自分を狙う外敵がいなく周りを警戒しながら暮らしている。さらに、野生の環境で生きる鳥の餌である種子は硬い皮に覆われていて、くちばしで剥ぎ取りながら食べる必要があるのだ。つまり野生環境で生きるセキセイインコの場合、その日1日の大半を餌探しや外敵の警戒に費やしている。

しかし、飼育環境下のセキセイインコはどうだろう。食事をする際は、止まり木を伝って餌箱へ移動するだけで餌や水を得ることができる。さらに、餌も食べやすいように加工された市販の餌であるため、セキセイインコが1日のうちに食事に費やす時間は野生環境と比較すると大幅に減少してしまう。また、飼い主の生活リズムに合わせて長く起きてしまうセキセイインコも多いと言われている。

つまり、野生環境では1日の大半を費やしていた食事の時間が、飼育環境下では大幅に

減少することで、セキセイインコに退屈な時間が生まれてしまうのだ。前述の通り、強い力で噛み付くことや毛引き、大声で鳴くなどの行動は、セキセイインコの問題行動と呼ばれているが、これらは退屈やそこから生まれる欲求を解消するために起こすものであると考えられている。

2-5 セキセイインコの退屈を埋める遊び

ここで、飼育環境下のセキセイインコが退屈な時間を埋めるために有効な行動について深く掘り下げていく。家庭で飼育されるセキセイインコは野生環境よりも身の危険を感じる場面が少ないことから、初めて見るものに対しても怖いと思うのと同時に興味を持って近づいて触れようとすることが多い。興味を持ったものに対してまずセキセイインコがやるのが、かじるという行為だ⁴⁾。セキセイインコはくちばしを用いることで硬さや質感、肌触り、温度、味を感じ取ることができる。さらに、かじるという行為を「遊び」として認識し、その行為自体にセキセイインコが楽しみを覚えるケースもあり、ストレスの解消に効果的であると考えられている。おそらく、時間を持て余した人間が部屋の片付けや手作業に没頭する感覚に近いものだろう。また、かじる行為の他にも、セキセイインコが物を引っ張って移動させる様子や、音に反応して体を動かすことを好んでいる様子も確認されている。このことから、セキセイインコの退屈を解消するためには、セキセイインコ自身が楽しみながら行う「遊び」が重要であると考えられる。

2-6 第2章のまとめ

かつて観賞用として飼育されていたセキセイインコは、時がたつにつれて人間と触れ合い、コミュニケーションを行うことで家族同然の関係を築く「コンパニオンバード」として飼育されるようになった。しかし、セキセイインコが飼育環境に置かれることで、野生環境で1日の大半を費やしていた食事の時間が大幅に減少してしまう。これにより、セキセイインコに退屈な時間が生まれてしまうといった課題が浮き彫りとなっている。一方、セキセイインコは物をかじることや、引っ張って移動させること、音に合わせて体を動かすことに楽しみを覚えることから、セキセイインコにとっての「遊び」が、退屈の解消に大きな効果が期待される要素であると私は考えた。

第3章 環境エンリッチメント

3-1 環境エンリッチメントとは

第2章では、現代の飼育環境における課題として「飼育環境が生んだセキセイインコにとっての退屈」が明らかとなった。実は、動物園の動物たちも飼育環境によって問題行動を起こしてしまう例が見受けられている。動物園では、これらの問題行動の改善や予防として野生下にあつて飼育下にはないものを飼育環境に取り入れる工夫を行っている。このように、野生環境に近い状態で動物の飼育環境を整えることで動物にとっての豊かな暮らしを実現する取り組みは「環境エンリッチメント」と呼ばれている⁵⁾。

環境エンリッチメントの取り組みによって、動物園ではこれまで以上に生き生きとした動物の姿がみられるようになった。また、来園者も楽しみながら動物の様子を観察できることで、動物の生態や生きるための環境を積極的に深く知る機会に繋がった。つまり、環境エンリッチメントは、私たちがこれまで以上に動物を知る機会の創出に、重要な役割を果たしている。この章では、円山動物園での環境エンリッチメントの実践例や手作りおもちゃの制作例を紹介しつつ、環境エンリッチメントに取り組む上で必要とされる考え方についてまとめていく。

3-2 札幌市円山動物園の実践例

環境エンリッチメントの方法はそれぞれの動物の習性により異なるが、相性の良いパートナーや仲間を作る、生活場所を動物の行動に合わせて作る、匂いや音、色といった感覚を刺激するものを取り入れる他、食餌の品目を増やすことや時間をかけて餌を食べられるような工夫を凝らすことが主に挙げられる。

円山動物園では現在、約170種900点の動物を飼育しており環境エンリッチメントにも積極的に取り組んでいる⁶⁾。例えばゾウ舎では、寒冷地でも1年を通して適正な飼育ができるように、屋内外に砂を厚く敷き詰めるなど、様々な環境エンリッチメントの取り組みを行ってきた。この取り組みは、2020年にエンリッチメント大賞を受賞するといった高い評価を受けている⁷⁾。そこで、2021年11月1日に札幌市円山動物園で飼育されている鳥類であるモモイロインコの担当飼育員の吉田さんに取材を行った。取材は円山動物園のカンガルー館内にある、モモイロインコの飼育スペースやバックヤードで行い、具体的な環境エンリッチメントの工夫について話を伺った。

一般的なモモイロインコの平均寿命は40歳ほどと言われているが、今回取材した円山動

物園にいるモモイロインコは38歳と高齢であった⁸⁾。そのため、他の動物のように積極的な工夫を凝らすことは難しいが、そうした中でもモモイロインコのために環境エンリッチメントとして3つの変化を取り入れているという。

1つ目は、飼育スペース内で栽培する植物の工夫である。モモイロインコの飼育スペースには、中央部分にぶら下がっている止まり木の近くに、モモイロインコが葉をかじることのできる距離に大きな木が配置されている。この木があることにより、高齢のモモイロインコは、止まり木に乗りながらも、自ら好きな葉をかじって食事を楽しむことができるようになった。さらに、この他にも飼育スペース内には多くの植物が置かれている。今年の4月に植えた植物の中には、将来的にモモイロインコが食べられる木の実がなる予定のものがある。さらに図1に示したように、壁を伝う性質の植物を植えることで、植物が



図1 モモイロインコの飼育スペースにある植物

成長するにつれてモモイロインコの食べやすい高さの餌になる。さらに、夏場には日除け

としても機能する予定だ。

2つ目は他の動物の存在である。モモイロインコの飼育スペースの隣には、繁殖中のカンムリシロムクが飼育されている。モモイロインコの方からカンムリシロムクの姿が見えることはなくても常に互いに近くにいることから、カンムリシロムクが鳴いた時はその鳴き声がモモイロインコの方にまで聞こえる。鳴き声を聞いたモモイロインコはその鳴き声に応えるかのようにして大きな声で鳴き返すという。また、夏場に窓を開けていた時に外のカラスが窓付近の柵に止まってモモイロインコの様子を見に来たことがあったが、その際カラスに驚いたモモイロインコがカラスに対して威嚇していたようだ。この出来事は吉田さんにとって、「ストレスのかからない範囲でモモイロインコに刺激を与えることが、モモイロインコの健康に良い効果を与えるかもしれない」と感じるきっかけとなった。

3つ目は与える餌の工夫である。円山動物園にいるモモイロインコは高齢のため、採餌の際に移動を強制し、餌の獲得に体力を要するようなエンリッチメントは困難である。そこで、生きている虫やその幼虫といったそれぞれ形や食感の異なる餌を与えることで、餌の食感に変化をつける工夫を凝らしている。円山動物園では主に、モモイロインコに餌としてミルワームやコウロギ、デビュアを与えている。また、園内で餌の繁殖も試みており、これらの餌を継続的に与えられるような取り組みも行っている。また、隣にいるカンムリシロムクの飼育スペースの場合は、ケースの中に砂と植物を植えて、さらにそこに虫の餌を混ぜ込んだものを設置している。カンムリシロムクは上からその様子を見て、餌の虫が中で動いた一瞬の隙を察知して上から飛びかかって餌を食べるようだ。飼育員の方によると、この取り組みにより、以前の餌をそのままケースに入れて設置していた時と比較してカンムリシロムクがより活発になったことが確認されたとのことである。

ここまで紹介してきた3つの実践例調査を踏まえて、円山動物園のモモイロインコやカンムリシロムクに環境エンリッチメントの要素を取り入れることで、飼育スペース内でもモモイロインコやカンムリシロムクのストレスを改善する効果を得られるとわかった。また、高齢のモモイロインコへの実践例から、環境エンリッチメントといっても、むやみに体力を消耗させることや仕掛けを複雑にするのではなく、その動物にとっての暮らしやすさや楽しみを生み出すためにどんな要素を取り入れるかを試行錯誤しながら最適な形を検討していくことが大切だと感じた。また、こうした個性や特徴に合わせた環境エンリッチメントの考え方は、動物園のみならず家庭環境で飼育される場合でも、共通して心に留めておくべきものである。

3-3 おもちゃによって期待されるエンリッチメント効果と課題

家庭で飼育されているセキセイインコの場合、動物園で実践されている環境エンリッチメントの要素を飼育環境に取り入れるためには、セキセイインコに与えるおもちゃが有効である。セキセイインコを飼育している家庭のほとんどは、セキセイインコにおもちゃを購入した経験があるだろう。飼育環境でセキセイインコにかかるストレスを緩和させるためにおもちゃを用いることは効果的だが、市販のおもちゃに多く見られる特有のカラフルな配色やプラスチック製のものは、セキセイインコが警戒心を持ちかねない他、怪我や誤飲など思わぬ事故を招きかねないといった問題点もある。実際、市販のおもちゃを購入しても、セキセイインコは興味を示すどころか警戒して全く近付こうとしないことも多く、好きになれないおもちゃを一方向的に与えられたことで邪魔に感じるだけではなく、そのおもちゃの存在自体がストレスの引き金となるケースもある。つまり、おもちゃが人間の主観で作られている現状や、セキセイインコが使用するおもちゃを人間が購入するということに問題があると言える。

3-4 手作りおもちゃの制作例とメリット

こうした中で、前述のように市販のおもちゃを購入しセキセイインコに与えるのではなく、自分が飼っているセキセイインコに合わせたおもちゃを飼い主自ら制作する手作りおもちゃが注目されている。そこで、2021年10月8日、実際にセキセイインコに向けたおもちゃを手作りし販売している「ペットショップ小泉」にておもちゃの作り手である店員の小泉さんにおもちゃを見せていただきながら、おもちゃ作りの手法や手作りのメリットについてのお話を伺った。今回取材させて頂いた「ペットショップ小泉」は、札幌市北区に位置している。創業の1960年以降、大手ペットショップの大型動物の取り扱いとは異なる小鳥やハムスターといった小動物を数多く販売し、お客さんとより近い距離での関わりを大切にされた地域に愛される老舗ペットショップである。インコに関連する商品はおよそ1000種類ほどの品揃えであり、新しいメーカーの商品も頻繁に入荷するが、そんな中でもペットショップの一角に販売されている手作りおもちゃはお客さんからの需要がとても高いという。現在手作りおもちゃを制作している小泉さんは、このペットショップで以前おもちゃ制作を担当していた方の後を継ぐことをきっかけにおもちゃを作り始めた。しかしその後、自らが飼育しているセキセイインコに手作りおもちゃを与えてみることや工夫を重ねていくうちに、週に1度はおもちゃ作りをするほど楽しみながら制作を続けるように

なり、3年ほど前から制作してきたおもちゃは現在合計700個にもものぼる。

今回の取材において、手作りおもちゃを見せて頂いた中で印象的だったものとして図2に示したはしごのおもちゃがある。



図2 はしごの手作りおもちゃ

はしごのおもちゃは既に市販でも多く出回っているが、メーカーが作るはしごの場合、高齢で足をうまく動かすことができないセキセイインコや運動があまり得意ではないセキセイインコにとっては、はしごの間隔が大きいことで足を踏み外したり体を挟んでしまったりする恐れがあるため遊ばせるのは危険である。一方、図2のはしごの場合は足をかける部分を斜めに配置し間隔を狭め、さらにその接続部分には大きなビーズを通し危険な箇所を覆っている。これにより、事故のリスクが減りどんなセキセイインコにも安心して遊ばせることができる。つまり、手作りおもちゃは、自分のセキセイインコを一番近くで見ている飼い主がセキセイインコの特徴や性格を理解した上で作ることができる唯一のオーダーメイド品である。そのことに、大量生産されている市販のおもちゃにはない大きな魅力と必要性を感じた。

また、手作りのおもちゃの場合は、飼い主自身が自分の目で素材を確かめた上でおもちゃの材料を購入し、制作ができるという点も飼い主とセキセイインコ両方の安心に繋がる。小泉さんによると、飼い主側もセキセイインコのために日常的におもちゃの材料となりそうなものを見つけることに楽しみを感じ、自分の飼っているセキセイインコが手作りのおもちゃを楽しそうに遊んでいる姿に自分自身も喜びを感じるそうだ。今回の取材を通して、セキセイインコのためにおもちゃを作るという行為が、自分の飼育するセキセイインコをより深く知るための新たなコミュニケーション手段として期待できそうだと私は考えた。

3-5 環境エンリッチメントに基づいた飼育ブックの方向性

ここまで、円山動物園の環境エンリッチメントの実践例やペットショップ小泉の手作りおもちゃの制作例を取材内容と共に紹介してきた。取材を行う前は、飼育ブックの案に加え、環境エンリッチメントの要素を取り入れた手作りおもちゃの実作も案として検討していた。しかし、これらの取材を通して、環境エンリッチメントに絶対的な正解の形は無く、家庭で飼育されるセキセイインコに対して環境エンリッチメントを実践する際は、そのセキセイインコの個性に合わせられるよう試行錯誤しながら、飼育環境や仕掛け作りをしていくことが大切であると考えた。

そこで、おもちゃ制作の前段階にあたる

- ・「セキセイインコの飼育を行う際に必要とされる基本的な知識の理解」
- ・「飼育しているセキセイインコの個性を深く知る」

これら2点を達成できる飼育ブックの制作を行っていく。また、本飼育ブックはペットショップで配布することを想定しているため、デジタル媒体よりも気軽に手にとって中身を見ることができる手帳型を採用する。

第4章 セキセイインコの飼育に関する知識

4-1 飼育環境下におけるセキセイインコと人間の関係

この章では飼育ブック制作に向けて、改めてセキセイインコの飼育に関する基本的な知識に関する文献調査の内容について述べていく。

初めに、飼育環境下でのセキセイインコと人間の関係について、セキセイインコの生態と紹介する。セキセイインコの遺伝子に組み込まれている「鳥としての行動原理」は、たとえ人間と暮らしていても変わらないものである。セキセイインコはもともと群れの中で生活していたが、その一方徹底した個人主義を持ち、群れの中で突然誰かがいなくなった場合も気にしないという特徴がある。しかし自分1羽のみとなった場合、途端に不安になる臆病な面もある。そのため家庭環境で飼育されているセキセイインコにとっては、人間がその不安や孤独感を埋めるための重要な役割を果たしていると言える。

一緒に暮らす人間に対してセキセイインコが求めるものは、先ほども述べた不安を埋められるような安心感である。ここで言う安心感とは、飼い主が空気を読んでセキセイインコが求める距離感を掴み、その距離感をきちんと保ってくれることを指している。そのため、セキセイインコに対して飼い主が闇雲にコミュニケーションを求めるのではなく、セキセイインコの行動や反応をよく観察しながらセキセイインコが求める距離感を大切にすることで、飼い主とセキセイインコは互いに良い関係を築けるのではないかと考えた。

4-2 セキセイインコの健康観察

セキセイインコは体に不調があった場合、飼い主に言葉で伝えることはもちろん不可能である。しかし飼い主が日々、セキセイインコの様子を観察することで不調のサインを発見できることもある。現に、セキセイインコが病気になったり若くして亡くなってしまう最大の要因は、飼い主の観察が行き届かないことや認識の甘さとも言われており、この情報からも健康観察を行うことの重要性が示されている⁹⁾。

飼い主が目で見えてわかるセキセイインコの主な不調のサインとして、体重の大幅な変動、フンの色や形状の変化、普段は見られない問題行動などが挙げられる。これらのサインからセキセイインコの体調に異常が見られる際は、その時点ですぐに鳥を専門とする動物病院にセキセイインコを連れていくことが必要だ。現在では、ウェブを検索すると似た症例が見つかるかもしれないが、そうした情報に惑わされた飼い主が単独で誤った判断をしてしまうことは大変危険である。日常的に健康観察をして、セキセイインコの不調のサイン

を見つけてあげることが飼い主の仕事である。

4-3 飼い主が心がけること

また、セキセイインコの健康を維持するためには、飼い主側がセキセイインコにとって最適な環境づくりを率先して心がけることが必要だ。ここではその例を4つ紹介している。

まず1つ目は温度管理の徹底である。室内やケージ内の温度はセキセイインコの体調に大きく影響すると言われている。一般的にはケージ内は25～30度が適温と言われているが、セキセイインコが羽毛を膨らませていたり、寒そうにしていないかなど、常にチェックしつつ鳥用のヒーターで調整することが大切である。しかし、セキセイインコの呼吸が荒くなるのは暑すぎるサインなので注意深く観察すべきだ。

2つ目は放鳥の時間を設けることである。これまで述べてきたように、セキセイインコが飼育環境のような狭い空間で1日中過ごすのはストレスのもととなる。そのため、1日に1度は必ずケージから出して遊ばせる時間を設けるべきだ。また、飼い主がセキセイインコから目を離していた隙に思わぬ事故につながるケースもあるため、放鳥時には注意も必要だ。

3つ目は、かごの中や床を清潔に保つことである。特に、セキセイインコの誤飲に繋がるものや、アボカドやチョコレートなどセキセイインコにとって有害な食べ物が家の床に落ちていないかをチェックすることが必要だ。かごの中に敷き紙を敷いている場合は、1日1回取り替えるべきである。

4つ目はセキセイインコの生活リズムに合わせた明るさ調節だ。セキセイインコは昼夜問わず細かい眠りを繋ぎ合わせて睡眠時間を確保するが、それでも時間に合わせた明るさ管理ができていないと体調や精神に異変が現れることがある。明るい時間があまりにも長いと夜中でも餌を食べて過食を引き起こす要因となったり、その反対に日中でも日光を浴びる時間が十分に確保できない場合、ビタミンが不足してしまい、短命のリスクが大きくなるとされている。以上のことから、日中は直射日光の当たらない明るい場所に、夜は夕方過ぎや遅くとも日付の変わる前にはケージを布やカバーで覆うことが必要だ。

ここで挙げた例はほんの一部に過ぎず、セキセイインコを飼育する際は飼い主が常に多くのことを気に掛ける必要がある。中には、これらを日常的に行うことに負担を感じてしまう飼い主もいるかもしれない。しかし、飼育環境にいるセキセイインコは普通に生きて

いるように見えても、野生とは異なる環境下で様々なことを我慢しながら暮らしていることもある。生まれた時から人間に飼育されてきたセキセイインコにとっては飼育環境が彼らの生きる世界の全てなのだ。また、その環境を変えられるのは飼い主である人間の意識のみであり、私たち人間はそうした事実にとどのくらいの責任感を持てるかが大切だ。

第5章 制作物について

5-1 制作主旨

本研究では、飼育されるセキセイインコの幸せについて考えてきた。野生下では、セキセイインコは一日の大半を餌探しに費やしていたが、飼育環境下でその時間は大幅に減少してしまった。この食事の時間の減少によって生まれた、セキセイインコにとっての退屈が、現代のセキセイインコの飼育における課題である。これを解決するものとして、野生下にあって飼育下にはないものを、飼育環境の中に仕掛けとして取り入れる「環境エンリッチメント」に注目した。しかし取材を経て、動物の個性によって好みや求められる仕掛けも異なるため、環境エンリッチメントに絶対的な正解の形はないことが分かった。家庭で飼育されるセキセイインコに環境エンリッチメントを実践するには、セキセイインコの飼育に関する基本的な知識に加え、飼い主自身がそれぞれのセキセイインコの個性を深く理解しようとする気持ちが必要だ。

それらを踏まえ本制作では、飼い主がセキセイインコの飼育に関する基本的な知識を学びつつ、飼育しているセキセイインコの個性を深く知ることができるものを目指す。また、最終的に飼い主がこの制作物で学んだ内容を生かして、自分の飼育するセキセイインコに環境エンリッチメントを実践できることを想定する。

5-2 飼育ブックの概要



図3 「我が家のインコダイアリー」表紙

今回制作した手帳型飼育ブックは「我が家のインコダイアリー」というタイトルで、セキセイインコを飼育するために知っておくべきことを記載した情報ページと、自分の飼育するセキセイインコの日々の記録ができるワークシートの2形態で構成した。図3は、飼育ブックの表紙である。

情報ページはLesson1からLesson4に分かれている。ここからは、情報ページ内のデザインを一部抜粋しながらその内容を以下に記述していく。

① Lesson1 「インコを飼うあなたへ」 (図4)

- ・初めてセキセイインコを飼う人に向けた飼育方法の紹介が行われている。
- ・イラストを用いることで、本を読むことが苦手な人にもわかりやすく、簡潔な内容となることを目指した。

② Lesson2 「インコと暮らそう」 (図5)

- ・セキセイインコの健康管理や必要とされる考え方について述べている。
- ・セキセイインコの健康状態に関する情報は、飼い主が目で見えてわかるような要素を中心にまとめられている。

③ Lesson3 「インコらしい暮らし」 (図6)

- ・環境エンリッチメントという言葉を知らない人にも伝わりやすいようにイラストや具体例を用いて解説している。
- ・環境エンリッチメントの中で、採食行動にフォーカスした「採食エンリッチメント」の紹介や、手作りおもちゃの紹介を通して、読んでいる人にも環境エンリッチメントの実践を促す内容となっている。
- ・取材に足を運ぶことで得られた考え方や経験を通して、新しい視点での飼育のあり方が伝わるように意識した。

④ Lesson4 「私たちができること」 (図7)

- ・セキセイインコの飼育の中で生まれる疑問や課題についてQ&A方式で解説が加えられている。
- ・Q&A形式を用いることで、時間が経っても見返しやすい簡潔なデザインとなっている。



図4 Lesson1内の
ヒナの育て方に関するページ



図5 Lesson2内の
健康に関する知識のページ



図6 Lesson3内の
採食エンリッチメントに関するページ



図7 Lesson4内の
Q&Aに関するページ

ここからはワークシートの紹介をしていく。ワークシートは、プロフィール、体重記

録シート、まいにちの記録シート、思い出アルバムの4つが情報ページの途中に挟み込まれている。それぞれのワークシートの内容や機能は以下の通りである。

① プロフィール (図8)

- ・飼育するセキセイインコの基本情報に加え、近くの動物病院の情報欄を設けて緊急時にも役立つ内容を書き込むことができる。
- ・緊急時にも見返しやすく、序盤のLesson1に挟み込んでいる。
- ・自由記述欄を設けたことで、自分のセキセイインコに合わせた記入ができるようになっている。

② 体重記録シート (図9は説明ページ、図10はシート本体)

- ・1ページで1週間分の記録ができる。
- ・折れ線グラフによって、体重の推移がひと目でわかる仕組みとなっている。
- ・目盛りが大きめに作られており、体重の僅かな変化にも気づくことができる。

③ まいにちの記録シート (図11は説明ページ、図12は本体)

- ・「飼い主が心がけることリスト」と「インコの体調チェック」の2項目がある。
- ・「飼い主が心がけることリスト」は、冊子内の5項目のチェックリストを見て、その日できたことを確認する。その後シートの中で、チェックリストの番号に対応しているインコのパーツに色を塗る。
- ・「インコの体調チェック」は、冊子内のチェック項目を参考に、その日気になったセキセイインコの行動や体調をシートのメモ欄に記録する。
- ・図12に示したように、シート本体はカレンダー型になっているため、毎日継続して記録ができるような狙いを込めている。
- ・シート内には、毎月内容が異なるセキセイインコの飼育に関する豆知識が記されている。

④ 思い出アルバム (図13)

- ・セキセイインコとの思い出を写真とともに記録できるアルバムページ。
- ・写真を貼る欄に加え、日付とタイトル、メモ欄を加えて日記のような感覚で使えるようなページとなっている。

Lesson1-3
プロフィールを記入しよう

あなた



photo

性別

♂ 男 ♀ 女

生まれた日 or おうちに来た日

年 月 日

詳しい住所

住所 〒 _____

電話番号 _____

近くの動物病院

なまえ _____ 電話番号 _____

MEMO (インコの性格や好きなこと)

-7-

図8 プロフィール

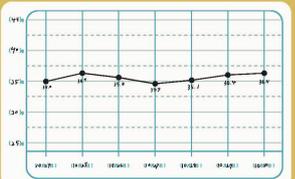
Lesson2-4
インコの
体重記録をしよう

Lesson2-3 における飼育環境のやり方を参考にインコの健康管理をしましょう。体重インコであれば平均体重は30~40gと重たれていますが個体差もあり、平均よりも多い・少ない個体のインコでも多く健康に育つ場合があります。大切なのは、そのインコにとっての適正体重を定めること。目安であれば毎月記録して適正に体重の増減が保たれているか、異常な増減や体重の急激な減少がないか確認しましょう。

【記録シートについて】

- 記録の頻度、継続の日付は書き込みになっており、1ページで1週間の記録が可能です。
- 表の中に入力した体重を線で結ぶことで、一目でわかる増減の推移がわかるので1ページ記録することをおすすめします。

【記入例】



-12-

図9 体重記録シートの説明ページ

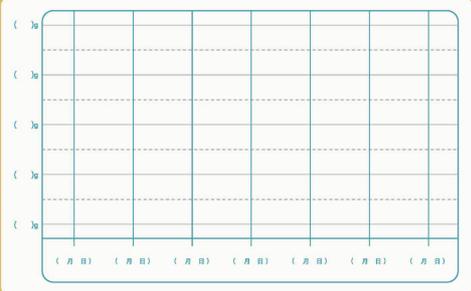


図10 体重記録シート

また、飼育ブックは飼い主が日常的にそばに置いておきたくなるように、手帳型で制作した。A5サイズのルーズリーフ型で制作し、使用状況に応じてワークシートの補充や交換ができることを想定している。

5-3 制作物についてのヒアリング

本研究で取材させていただいた「ペットショップ小泉」の小泉さんは、自身も家でセキセイインコの飼育をされている。そこで制作物についてのヒアリングを兼ねて、2021年12月3日に「ペットショップ小泉」にて完成した飼育ブックの実物を見ていただいた。

ヒアリングに伴い小泉さんには、飼育ブックの内容を参照しながら、formsで制作した質問に5段階評価で回答して頂いた。質問内容と回答は以下の通りである。

- ① 表紙や誌面をご覧になって、手にとって見てみたいと感じるようなデザインだと感じましたか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答:5】

- ② Lesson1をご覧になって、初めてセキセイインコを飼う人に向けた情報はわかりやすく整理されていると感じましたか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答:5】

- ③ Lesson1のプロフィールページは記入しやすく見返したいデザインだと思いますか。(1:全く思わない 5:とてもそう思う)

【回答:5】

- ④ Lesson2をご覧になって、セキセイインコを健康を考える上で必要な知識がわかりやすくかつ簡潔に記載されていると感じましたか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答:5】

- ⑤ Lesson2の「インコの体重記録をしよう」のページはわかりやすく、記入シートは体重の推移が見返しやすいデザインになっていると感じますか。(1:全く感じなかった

5:とても感じた)

【回答：5】

- ⑥ Lesson2の「インコの肥満による健康リスクについて」や「体重記録シート」をご覧になって、実際にこのシートを利用してセキセイインコの体重を日常的に記録したいと思えましたか。(1:全く思わない 5:とても思う)

【回答：5】

- ⑦ Lesson2の「まいにちの記録シート」をご覧になって、シートに関する説明はわかりやすく、記入シートはセキセイインコの記録を見返ししやすいデザインになっていると感じましたか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答：5】

- ⑧ Lesson2の「まいにちの記録シート」でカレンダーや塗り絵の要素を取り入れた記入シートをご覧になって、実際にこのシートを利用して継続的にセキセイインコの記録を試みたいと思えましたか。(1:全く思わない 5:とても思う)

【回答：5】

- ⑨ Lesson2の「まいにちの記録シート」に記入することは、自分の飼育しているセキセイインコの個性や好みを深く知ることに繋がると感じますか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答：5】

- ⑩ Lesson3をご覧になって、環境エンリッチメントの概要とその必要性を理解することはできましたか。(1:全く理解できなかった 5:よく理解できた)

【回答：5】

- ⑪ Lesson3の「採食エンリッチメントにチャレンジ」の紙を使ったエンリッチメントは、飼い主とセキセイインコにとってチャレンジしやすい内容であると感じましたか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答：5】

- ⑫ Lesson3の「手作りおもちゃのすすめ」をご覧になって、おもちゃを手作りするもののメリットや意識するポイントは理解できましたか。(1:全く理解できなかった 5:よく理解できた)

【回答:5】

- ⑬ Lesson3の「手作りおもちゃのすすめ」をご覧になって、自分の飼っているセキセイインコにも実践してみたいと思える内容に感じましたか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答:5】

- ⑭ Lesson4の「インコに関するHOW TO教室」をご覧になって、これまで自分が知らなかったセキセイインコの情報を得ることができたと感じますか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答:5】

- ⑮ Lesson4の「思い出アルバムを作ろう」のページをご覧になって、実際に利用してみたいと感じるデザインに思えましたか。(1:全く思わない 5:とてもそう思う)

【回答:5】

- ⑯ この冊子の情報ページを通して何か新しい発見があったり、今後参考にしていきたいと思う内容は見つかりましたか。(1:全くなかった 5:たくさん見つかった)

【回答:5】

- ⑰ 情報ページとワークシートが合体した冊子を通して、日常的にそばに置いておきたい飼育ブックであると感じましたか。(1:全く感じなかった 5:とても感じた)

【回答:5】

上記の通り、アンケートではデザイン性と機能性の両面で高い評価をいただいた。その後、誌面を見せながらより詳細にヒアリングを行う中で、今後の改善点がいくつか見つかった。はじめに、冊子のサイズは持ち運びやすさからA5を採用したため、誌面の文字が小

さく見づらいデメリットが見受けられる。そのため、冊子のサイズは今後も検討が必要である。また、体重記録シートだが、セキセイインコの体重の1日ごとの変動は大きくても1~2gと言われているため、グラフの目盛りをさらに細かくすることで見やすさの向上が期待できる。また、食事の前後で体重が変わることから朝に測ることが良いとされているため、記録する時間の説明を加えるとより正確な数値での体重記録に繋がることを期待される。

5-4 今後の展望

今回、取材をさせていただいた「ペットショップ小泉」から、手帳型飼育ブックの商品化の話を受けた。しかし、本研究内では、複数名による評価ができなかったことに加え、実際に手帳型飼育ブックを使用させていただいた上で意見をいただくことができなかった。そのため、今後は複数のセキセイインコの飼い主に、試作版を使用させていただいて意見をもらい、内容のブラッシュアップを行うことで手帳型飼育ブックの商品化を目指したい。また、現代では動画やアプリといったデジタル媒体は飼い主同士の情報共有や交流に繋がり、日常づかいとしてのメリットが大きいことから、デジタル媒体の活用方法についても検討を行っていききたい。

第6章 おわりに

飼育されているセキセイインコにも感情があり、飼い主とのコミュニケーションで幸せや嬉しさを感じることは、セキセイインコの長生きにも効果的だ。また、セキセイインコは繊細な生き物で、実は人間とも似ている部分がたくさんある。だからこそ私たちはセキセイインコに惹かれるのかもしれない。

一緒に暮らしているセキセイインコはどんな性格か、日々愛情を持って観察することで、それぞれのセキセイインコの行動パターンや個性が見えてくる。そして、飼い主である私たち人間が、個性に合わせた飼育を心がけることで、セキセイインコにとっての幸せに繋がるだろう。

本研究で制作した「我が家のインコダイアリー」は、情報ページとワークシートの2つを通して、飼い主が環境エンリッチメントに関心を持つとともに自分が飼育しているセキセイインコのことを深く知ることを目指している。この作品がセキセイインコとその飼い主の幸せを考えるための第1歩として、役に立つことを心から願っている。

謝辞

本論文の執筆や制作にあたり、指導していただいた札幌市立大学デザイン学部須之内元洋教授、また本研究にて取材を快く引き受けてくださった札幌市円山動物園の吉田様、「ペットショップ小泉」の小泉様、そして研究を進める中で様々な助言を下された友人の皆様や家族に深く感謝をいたします。

【参考文献・参考webサイト一覧】

- 1) 「夏島貝塚 (なつしまかいづか) 」 横須賀市 閲覧日2021年12月10日
(<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8120/bunkazai/kuni10.html>)
- 2) 「コンパニオンバード 日本での歴史 | インコの飼い方」 インコの愛し方 閲覧日2021年12月10日
(<http://インコ.biz/category15/entry144.html>)
- 3) 「ペットショップに飼育書、ペットのお墓まで！？江戸時代のペット事情が現代と変わらない」 江戸ガイド 閲覧日2021年12月10日
(<https://search.yahoo.co.jp/amp/s/edog.com/blog/2016/11/pet.html/amp%3Fusqp%3Dmq331AQIKAGwASCAAgM%253D>)
- 4) 「インコの心理がわかる本」 細川博昭著／誠文堂新光社 2011
- 5) 「インコを幸せにするためのおもちゃ・アイデアブック」 青木愛弓著／誠文堂新光社 2011
- 6) 「円山動物園『まるわかり』コーナー」 札幌市円山動物園 閲覧日2021年12月10日
(<https://www.city.sapporo.jp/zoo/topics/topics2-853.html>)
- 7) 「『エンリッチメント大賞2020』-動物飼育の将来の方向性を社会として考え直す-」 市民zooネットワーク 閲覧日2021年12月10日
(<http://zoo-net.org/enrichment/award/2020/>)
- 8) 「モモイロインコ」 札幌市円山動物園 閲覧日2021年12月10日
(<https://www.city.sapporo.jp/zoo/025-e.html>)
- 9) 「長生きする鳥の育て方」 細川博昭著／誠文堂新光社 2021